

2013年7月5日(金) 化学史学会 エクスカーション

集合場所: 地下鉄東西線「門前仲町」駅改札口(1番出口)

集合時間: 14時00分

コース: 門前仲町駅(徒歩400m) → 伊能忠敬立像[富岡八幡宮
参道左側] → (徒歩850m) 渋沢栄一住居跡[福島橋手前]
→ [福島橋わたる] 佐久間象山砲術塾旧跡 → (徒歩350m)
伊能忠敬旧住居跡(門前仲町1-18) → (徒歩1600m) セメント工業
発祥の地(清澄1-2) → (徒歩100m) 平賀源内エキテル実験の地
(清澄1-2付近) → (徒歩700m) 干鰯場跡(旧白河小学門前
現 K. International School)
(白河1-5) → (徒歩300m) → 深川江戸資料館(白河1-3-28) → (徒歩
200m) → 雄松院(度会園女の墓)(白河1-1-8)

解散時間: 17時00分ごろ(清澄白河駅)[半蔵門線]

- ◎ 伊能忠敬立像は、伊能忠敬が地図作製に歩いた跡を体験しようと1999年1月29日
から2001年1月1日までの2年間の伊能ウォークの完歩記念として建てられた。
- ◎ 渋沢栄一住居跡は渋沢が明治初年から深川に在住、深川区(当時)区会議議員、
区会議長をつとめた。深川方面の諸事業に関与し、浅野総一郎とたすけて清澄町の
深川セメント工場を政府から払い下げさせ浅野セメント(現太平洋セメント)の事業を成功させた。
- ◎ 砲術塾旧跡 1850年(嘉永3年)佐久間象山がこゝ小松町真田藩邸で砲術塾を開き、
勝海舟(妹は象山夫人となる)坂本竜馬、中津藩士70名が入塾した。
- ◎ 伊能忠敬旧住居跡 1795年(寛政7年)5才で長男景敬に家業を継ぎ、江戸に移転した。
こゝから浅草にある天文方暦局の高橋至時に天文学や数学を学んだ。
- ◎ セメント工業発祥の地。財政窮乏に乏しい明治政府が各地の官営工場の民間払い下げをしていた
が浅野総一郎はセメント工場の払い下げを熱望、親交のある渋沢栄一に働き、明治16年官営で払い
下げられ、同17年9月土地建物設備一式を61.74/円で払い下げ、浅野セメントと命名
- ◎ 平賀源内エキテル実験の地 安政5年(1826年)平賀源内は官医武田長春院の下屋敷で岳崎
遊学の際持ち帰ったエキテルを修理須元し、人々の面前で電気実験の公開を行った。
- ◎ 干鰯場跡、江戸時代の肥料として干鰯(いわし)(いわしを乾燥したもの)は高価なものであった。銚子通りで
生産されて船便で江戸に運ばれ、こゝを中心に多量の干鰯問屋で取引された。
- ◎ 度会園女の墓 度会園女は眼科医に嫁ぐ人でもあった女性、松尾芭蕉に師事、芭蕉の
死を見取った。

◎ 浮川江戸資料館 江戸浮川: 左馬町の昔と今に通した家並が再現されている。火の見櫓、船宿、千筋の肥前問屋、米屋等の店屋、路地裏の長屋などこの町に住む人達の生活の匂いが感じられる。